学校番号	1008

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	(学)和太鼓入門	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・和太鼓は、1 日で 1 曲仕上げることができるほど簡単・単純なもの。単純なものですが、奥が深く、続ければ続けるほど人間性がにじみ出るものでもあり、そこが面白く、魅力的なところです。始めて和太鼓をさわる方にも、その魅力を充分に感じてほしいと思います。
・外部から専門の先生がお越しいただきますので失礼が無いようにしてください。（教務部）

2　学習の到達目標

・和太鼓を通じて日本の伝統芸能への理解を深め、芸術全般を身近なものとしてとらえる。あわせて、和太鼓の修練を通じて健全な精神と肉体を養い、将来の生活に必要な礼節を身につける。
・表現について考え、表現意図をもつことができるようにする。
・豊かな表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	撥の持ち方、正しい姿勢、基本リズムなどの演奏技術などを身につけているか。	身体を充分に使って、自己表現ができているか。	積極的に取り組めているか。 集中して取り組めているか。 チームを重視できているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		和太鼓とは何か	a:演奏時に、自然な撥の持ち方ができ、基本姿勢が身についている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)
		練習曲「はじめの一歩」1	a:基本的な奏法を身につけて、演奏できている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)
2学期		練習曲「はじめの一歩」2	a:基本的な奏法を身につけて、演奏できている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・外部 演奏	・練習 ・外部 演奏	・練習 ・外部 演奏
		練習曲「大陸」1	a:基本的な奏法を身につけて、演奏できている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・文化祭 発表	・練習 ・文化祭 発表	・練習 ・文化祭 発表
3学期		練習曲「大陸」2	a:基本的な奏法を身につけて、演奏できている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)
		練習曲「大陸」3	a:基本的な奏法を身につけて、演奏できている。 b:曲のイメージを自分なりにもち、それを表現しようとしている。 c:演奏表現を他者と協力しながら、主体的に取り組んでいる。	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)	・練習 ・テスト (実技)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度